

## 令和6年度第2回行政評価委員会（暮らし部会）会議録

### 1 開催日時

令和6年7月25日（木）15：30～17：00

### 2 開催場所

花巻市生涯学園都市会館3階 第3学習室

### 3 出席者

#### （1）委員5名

小林麻美副委員長（部会長）、川又留美子委員、佐藤睦朗委員、  
日下一也委員、富手京子委員

#### （2）説明者（施策関係部、施策主管課）2名

道路課：中野敬課長補佐

都市政策課：高橋和司課長補佐

#### （3）事務局（施策及び事務事業担当課）

財政課：小原広幸課長補佐

秘書政策課企画調整係：菊池遼主査、阿部ゆうみ主査

### 4 議題

市が実施した施策評価のうち、花巻市行政評価委員会の評価対象施策である「道路環境の充実」について評価を行った。

#### （1）施策主管課による説明、質疑応答

#### （2）委員会の評価結果の集約

### 5 議事録

#### （1）施策主管課による説明、質疑応答

（佐藤睦朗委員）橋梁点検は5年に一度ということだが、万代橋はいつ点検をしたか。

（中野道路課長補佐）資料を持ち合わせていないため、分かりかねる。

（佐藤睦朗委員）（写真をみせながら）橋梁の一部が折れていると見受けられるが点検して事態を把握されているものか。

（中野道路課長補佐）橋梁の部材ごとに判定をする。1から4までランクを決め、悪いほど4判定に近づくが、4判定は通行止めをしなければならない状態である。今現在4判定の橋はなく、早期措置段階といって3判定の橋を4判定にならないようかつ

2判定以下に補修していく方針で進めている。令和5年度は1,005橋の点検を行った。  
(佐藤睦朗委員) 万代橋は3判定にはなっていないものか。

(中野道路課長補佐) 4判定であれば通行止めとなり、3判定となれば修繕事業となるので、該当していない。ただ普通の橋梁長寿命化事業に該当してなくても、道路維持、橋梁維持事業の一環として何らかの対応が必要かもしれないので、現地を見て判断させていただく。

(佐藤睦朗委員) 5年に1度の点検で果たしていいのか疑問である。毎年点検は行っているのか。

(中野道路課長補佐) 通常、道路パトロールは1年に1回は市道を回ることになっている。パトロール用の黄色い作業車に2人乗車して対応している。万代橋は花巻の東と西をつなぐ重要な橋梁であると認識している。

(佐藤睦朗委員) 不動橋も高欄部分の劣化が目立ち、ほとんど朽ちてしまっている箇所も見受けられる。自転車などがぶつかるなどで折れてしまう可能性もあるのではと思って見ていた。点検で把握しているのならばいいが、よろしく願いたい。

(中野道路課長補佐) 5年に1度の橋梁点検は道路法に定められた法定点検である。万代橋等の点検がいつ行われたのかはこの場では分からないが、点検時に良い結果であっても、その後に壊れたものであれば直さなければならない。ご存知の通り大きい道路であるため、優先順位は高くなり早く事業化を検討することになる。事業化までの間は通常の維持管理の中で対策をしていく二つの体制で対応させていただきたい。

(佐藤睦朗委員) 評価に関して私は詳しいことが分からないため、着実に進めていってほしい。また、吹張町から末広町に通っている中央橋の歩道は県の管轄か。

(中野道路課長補佐) 市道に管轄が下りてきている。

(佐藤睦朗委員) 私の記憶だと5年以内に整備されたと思うが、歩道がインターロッキングである。見栄えはいいが、あの路線には今弘があるため、大型トラックが出入りすることでインターロッキングがボロボロの状態である。トラックの侵入が容易に想定できる場所に壊れやすいインターロッキングを設計して、その後に歩道の長寿命化を図るといふのは大いに疑問である。

(中野道路課長補佐) 大変申し訳ないが整備したのは岩手県であり、整備後に市に所管替えされ、市道として管理しているため、その経緯は把握していないところである。ただし、当該箇所等を生活道路維持事業で市が修繕している。

(佐藤睦朗委員) 事情はわからないわけではないけれども、結局のところ直さなければならない箇所が絶対に出てくるのであれば、直すときに考えられないものか。

(中野道路課長補佐) 今後直すときには、道路との交差点は巻き込みのための舗装を行っていく。

(佐藤睦朗委員) 年金事務所の交差点は舗装になっている。こと細かく小言を申し上げると、なぜ施工に差が生まれてしまうのか疑問である。

県が施工する際、こちらの要望が通るのであればもっとコミュニケーションをとるべきだ。評価とは関係ないが、全体の予算を大切にしていくという意味合いでは、インターロッキングのほうが費用がかかるし、壊れやすいというリスクもあるので、そういうところに対して少し気を使っただけならばという意見である。

(中野道路課長補佐) まちづくり市民アンケート結果を全部読ませていただいた。道路に関する満足度は5割程度であり、穴ぼこが多いなど、委員が今おっしゃった部分について市民の皆様が感じていることが如実に表れているのかなと思う。

(小林麻美部会長) ありがとうございます。今の佐藤委員のご意見は市が決定する修繕の優先順位の基準が市民には少し見えづらいともいえるのか。

(佐藤睦朗委員) それもあります。おそらく舗装してほしいという要望はたくさんあるでしょうから大変ですよ。

(中野道路課長補佐) はい。生活道路整備については市内で340件ほど要望があがっている。現在事業化しているのが50数か所であり、正直年間10件ちょっとくらいしかできていない。道路改良といって道路幅員を広げる事業の場合数年かかる。舗装だと基本的に1年で終わるが、事業が完了してもまた各地から修繕箇所要望があがってくるので、追いついてないのが事実である。財源確保という部分について、長寿命化の予算の財源確保については課題の欄に整理しているが、全ての事業においてほとんど国からの交付金をいただいていることから、普通の生活道路の予算の財源確保というのも重要になってくると考えている。

(小林麻美部会長) ありがとうございます。他の委員の皆様からはいかがでしょうか。

(日下一也委員) 融雪装置が入っている道路はどのくらいあるか。

(中野道路課長補佐) 10路線は超えていたと思う。

(日下一也委員) 歩道に入っているところはあるか。

(中野道路課長補佐) 万代橋は歩道にも入っている。6%を超える急勾配な道路に設置することが一応の目安であるが、6%を超えていない駅周辺や交通量の多い、万代橋や中央橋、上町のあたりも入れている。

(日下一也委員) 装置の中身はどのようなものがあるか。

(中野道路課長補佐) 電気のみは、身照寺から文化会館に降りてくるところ、万代橋の歩道など。その他にあるのは地下水還元で融雪しているのは消防署の通りや駅前に設置している。また、台温泉は排湯による熱交換で雪を融かすというものもある。さらに一部だが、宮沢賢治記念館は環境に優しい地中熱を利用して、地下の空気を汲み上げて熱交換器で還元し不凍液を回して溶かしている。主な装置は地下水還元である。

(日下一也委員) 地下水による融雪装置に対するクレームなどはないか。

(中野道路課長補佐) やり始めた頃は地下水が枯れる心配があるのかなと思っていた

が、そのような心配はない。しかし、地下水を汲み上げると管の中が閉塞してしまつて割れてしまうところが大分多くなってしまう。万代橋や駅前などは通常の修繕では追いつかず、全部替えようと融雪事業を事業化させた。

(日下一也委員) もう一つ。道路にかかっている山林の立ち木に対する市の対策について伺いたい。

(中野道路課長補佐) 市有地の立ち木であれば市が全て処理をする。一方、民地については、過去に裁判で根は切れるが、枝葉を切ると敗訴してしまうという判例があることから、土地所有者を調べさせていただき、話をしてお理解いただいて切っていただくか、文章をお送りするという対応をとっている。

(冨手京子委員) 朝日橋に歩道を作っていただいたけれども、歩道を使わないで車道を走る自転車の人が多い。あれはかえって危ないというか、市に意見など寄せられていないか。

(中野道路課長補佐) 私は聞き及んでいない。

(冨手京子委員) 私は運転していてすごく危ない印象だった。ポールが3本あって、途中抜けてまた3本設置してある。若い人たちであれば歩道を自転車で通過できると思うが、高齢者は怖くて通れないと思う。

(中野道路課長補佐) 朝日橋の外側に歩道を整備するようにと要望はでている。それになかなか着手できないため、あのように歩行者のために空間を設けたもの。自転車は軽車両なので、基本狭いところでも歩道は通行してはならず、車道の左側を走るというルールに一応はなっている。

しかしながら、子どもたちは狭くても自転車で歩道を普通に通るし、狭い思いをして通っていると思われる。朝日橋は広い道路ではないので歩道を壁で塞いでしまわずに、目で見ると狭いな、何かあるな、危ないなということを促す目安として、間隔を空けて抜けられるようにとポールを設置したもの。

(冨手京子委員) では自転車が通るため、歩行者のためではないのか。

(中野道路課長補佐) 基本歩行者のために作った空間である。ただし歩行者のために完全に区切ってしまうと、今度は今の車も大きくなってきているため、通り抜けるときにぶつかってしまうことが想定されるため、どこかでかわしていただくという意図で暫定的な処理をしたもの。

(冨手京子委員) わかりました。新しくできたスマートインターチェンジだが、そのことによって渋滞している道路が緩和されるケースはあるのか。

(中野道路課長補佐) スマートインターチェンジができてから周辺の交通量調査は行っていない。今後必要であれば渋滞緩和のための整備は検討していく必要があると思う。そのほかに信号機について1箇所は設置されたが、山の神の旧国道4号線から花巻和賀線への信号機の設置について警察に要望をしているもの。

(冨手京子委員) 国道4号線の4車線化は北上に比べて花巻が遅れていると聞く。こ

れはなぜか。

(中野道路課長補佐) 北上市内で2年ほど前にできた箇所はまた違う事業であり、もっと前に北上拡幅として始まった事業であるので早く出来上がったように見える。北上は自動車販売店や自動車学校などがある橋付近の前後に少し手をかけていたが、橋を新たにかける必要があり、事業費も期間もかかるため工事に着手したという事実はある。決して花巻も北上も大きく反対されているという情報は入っておらず、花巻についても山の神郵便局前後は家屋移転なども行っているため順調に進んでいると認識している。

(冨手京子委員) 市独自で要望を行っているようだが、国が財政上難しいというものなのか。

(中野道路課長補佐) 国が行う事業の予算確保の面で地方の声というのは重要だというふうに聞いている。

ただし、対象は全国となり、整備内容は川やダム、港湾など広範囲にわたるため、要望がどのぐらい反映されたかはわかりかねる。当方としては予算が多くなるよう地方の声をとにかく届けることとしたい。

(小林麻美部会長) ほかにございますか。

(川又留美子委員) 北上のキオクシアができる前から山の神の付近は渋滞していたと思うが、なぜ今になって解消に向けて動いているのか疑問に思った。また、西側の中部病院付近はかなり整備されて便利になっている。今度はその周辺で産業団地の建設が進んでいると思うが、完成した際には、その道路もまた渋滞する可能性があると思う。その解消策は今の時点で考えているのか。

(中野道路課長補佐) 道路の容量的には今の規格の道路を作れば大丈夫だと思われるが、交差点ごとにどうしても出る車、入る車があって渋滞してしまうことがある。国道4号線から西に向かって消防署から来たところ、ちょうど産業団地を整備しているところの西側の交差点がとても混んでいて出づらかった。

そちらは市長が自ら要望書をもって警察に届けた結果、何とか信号機をつけていただくことができた。

交通安全の部分もあるが、大きい交差点はまだあるため、そちらについても信号機の設置をしていただけるよう今後も要望をしていく。

(小林麻美部会長) ありがとうございます。私からは施策評価の結果の概要について1点質問させていただきたい。

施策評価シートの前年度の振り返りという部分において、チェックからアクションまでつながるように書かれていなければならないが、主なものとしては3つあると思う。

1つ目が効率的な修繕の実施、2つ目が岩手県、北上市と連携して、国に強く働きかけるというもの。そしてそれに関連して周辺市道整備事業を推進されていると思う

が、アクションとなる反映状況とその下の施策の目指す姿の実現に向けた主な取組のところでは主に修繕の実施について書かれている。ここに国などに強く働きかけるといふ文章を明示する意図はあるのか。方向性に書いた内容をアクションの部分に対応するように書くべきだと思うのですが。

ここは、今後の方向性で国に強く働きかけるとして、反映状況で要望を言い対応したととらえてよろしいか。

(中野道路課長補佐) そのつもりでこのような表現にしているもの。

(小林麻美部会長) 具体的にどのような働きかけをしたかの詳細までを書く必要はないか。

(佐藤睦朗委員) 重要だと私も思うが、それが評価基準になるかということと難しいのではないか。東京まで行きました。国会議員さんと一緒をお願いしてきました。ただできませんでした。という結果のほうが多いのだと思う。

(冨手京子委員) 要望に何回いけば成功して、成功しなければ花巻の道路整備はできないということになる。それでいいのかということだ。本当の話かは分からないが、北上は国道の拡幅を行わないとキオクシアが撤退するから急いで拡幅整備を行ったという話を聞いた。

花巻は要望を継続してきたけれど拡幅事業の採択を取れませんでしたというだけでいいのかと思った。

(小林麻美部会長) 成果指標の達成状況について、先ほどの中野課長補佐の説明で十分に理解できたが、これを公表する内容として記述するならば、単年度の資料には反映されていなかったとか、先ほど説明にもあった具体的な内容を入れたほうが透明性の確保という点からは良いと思われる。そのほかありますか。

(佐藤睦朗委員) JR花巻駅東西自由通路等整備事業はいつから着手するのか。

(高橋都市政策課長補佐) 今基本設計実施中だが、来年度まで実施設計を行い、工事については令和8年度の頭からを想定している。完成の予定は令和10年度の半ばくらいである。基本設計を開始した昨年より事業に着手したもの。

(冨手京子委員) デザインは全部JRから提案があつて、どの駅舎もデザインが似ているということで、せつかくの花巻らしさが反映されずに残念だと思っている。決まってしまうので何も言えないけれども、何か問題はなかったのかお聞きしたい。

(高橋都市政策課長補佐) 線路上での工事になるので施工も含めてJRの案となるが、そういった中で市として何かできないかということで市民ワークショップを行い、意見をいただいたうえでJRにもそのままお渡しして上がってきたデザインの中で進めてきたものである。

上がってきたものは全て良いものではなかったというのは、もちろん色々ご意見あるのでそのとおりにかなと思うが、ただその中でワークショップ等でいただいた意見など

も踏まえたからこそ今回のデザインがあったということは自分の中で評価しているところである。

(小林麻美部会長) これで委員によるヒアリングを終了したいと思います。

(2) 委員会の評価結果の集約【施策評価検証シートの整理】

①「前年度の振り返り」の「反映状況」について

特に意見なし

②「成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について

特に意見なし

③「施策を構成する事務事業の検証」について

特に意見なし

④「施策の総合的な評価」について

(佐藤睦朗委員) 指標は私達にはなかなか馴染みがなく、理解できるものではないかなと思うが、目標値に対する実績値はずっとこの4年間は変わらないようだから、それなりに頑張っているのだろうと思う。ただ予算の関係とか、国との絡みとか、一概に進まないということもわかるし、そういった中で移管も増えていることを考えると、順調とは言わないまでも頑張っているだろうと評価できると私は思う。

(佐藤睦朗委員) 指標に対し実績値が下がっているわけではないので評価したい。

⑤シート記載内容全般について

(佐藤睦朗委員) 先ほどの部会長の発言のとおり、単年度の説明を入れてもらうのはいいと思う。